



外国人の目線で地域の魅力を再発見！ ～食を通じた地域のプロモーション・交流事業～

(一財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主査 田村 佳利、主事 渡辺 直子

食や文化を通じて地域に新たな可能性を

クリアでは、日本およびアジアに料理教室を展開する(株)ABC Cooking Studio(東京都、以下ABC)と連携して、「食を通じた地域のプロモーション・交流事業」(ツアー形式のプロモーション事業)を2018年度から行っています。ABCの海外教室に通う、日本の食や文化に興味があり、発信力の高い生徒を国内自治体に招へいし、自治体が企画したツアー行程を巡ります。開催自治体には、事業を通して、今後、インバウンドを受け入れるにあたって必要となる、施設の言語対応などの課題や対象とする国にどのような観光素材が喜ばれるのかなど、招へい者の生の声や反応を見ることで、インバウンド事業推進に役立てることができます。

<自治体のメリット>

●対象国の方の生の声、反応が分かる

→招へい者にはアンケートを実施。生の声をフィードバックします。

●情報を海外に発信できる

→招へい者がSNSで発信するほか、ツアーの様子をプロモーション動画に編集し、ABC海外教室のデジタルサイネージやYouTubeなどで発信します。

●観光プロモーション動画ができる

→上記動画は、自治体にも納品しますので、PR動画として活用できます。

●経費負担が少ない

→自治体の負担は、自治体内での移動費、食費、体験費、国際交流員等通訳の手配のみ。その他、渡航費などはクリアが負担します。

※事業概要や申し込み方法、過去事例など、詳しくはクリアホームページをご覧ください。

<http://economy.clair.or.jp/activity/project/>

参考に、今年度既に実施した事業内容について、一部抜粋して紹介します。

新潟市、佐渡市

・日程：2019年9月20日～23日

・招へい者：中国のABC料理教室に通う生徒等

・目的：コシヒカリや日本酒、日本海の新鮮な海鮮など食材の宝庫である新潟市・佐渡市で、収穫体験や料理体験を通じて、地域の魅力を発見、発信してもらうこと。

<佐渡市>

佐渡市では、朝一番で市内の魚市場でセリを見学しました。佐渡市では市場と連携し、市場見学をツアーツールとして組み込み始めたばかりで、ツアーツールとして有効か、招へい者の反応を見るため、行程に組み込みました。また、工夫した点として、魚市場では、その日宿泊予定のお宿「旅館・浦島」の総料理長が、夕食として提供する料理の食材をセリ落とす様子を見学しました。招へい者は、今晚のおかずが何になるのか、ワクワクしながらセリ風景を楽しんでおり、「めったにできない体験だった」などと、好評を得ました。



岩首昇竜棚田にて稲刈り体験

続いて向かったのは、険しい傾斜を活かした変形の棚田が広がる「岩首昇竜棚田^{いわくびしゅうりゅうたな}」。ここでは、地元農家の方に教わりながら新米コシヒカリの収穫体験をしました。体験を終えた後は、棚田が見渡せる場所に建てられた展望小屋で、地元農家の方がにぎった「新米コシヒカリの

おにぎり」を食べて、食の魅力をたっぷり堪能しました。美しい景観と美味しいお米に魅了された招へい者からは「棚田のオーナーになりたい」といった声があるほど好評で、実際に招へい者と佐渡市とのつながりも生まれ、市の担当者からは、「招へい者が料理教室に通う生徒ということもあり、食材の面で農業分野との新たなつながりの可能性を感じた」とご意見をいただきました。

<新潟市>

新潟市では、新潟古町体験として「花魁^{おいらん}着付け」体験などをしました。夜は、実際のインバウンド対応を想定し、「ツーリズムにいがた(株)」(新潟市)が、インバウンド向けに行っているプログラムを行程に組み込みました。日本酒レクチャーを受講した後、居酒屋巡りができるチケットを使用して居酒屋ホッピング(居酒屋数件をハシゴ)を体験するプログラムです。ホッピングツアーには「ツーリズムにいがた(株)」の担当者が同行案内し、新潟県に関わるクイズなどを出題するなど、今後、中国からツアーを招致していくにあたっての対応方法などを確認するきっかけとなりました。



居酒屋ホッピング体験

岡山県、岡山市、真庭市、吉備中央町

- ・日程：2019年9月30日～10月4日
- ・招へい者：インドネシアのABC料理教室の生徒等
- ・目的：岡山市、真庭市、吉備中央町では、ムスリム観光客も旅行しやすい受入れ体制づくりを共同で進めており、岡山独自のムスリム対応基準「ピーチマーク」を設定し、飲食店や宿泊施設、お土産品などを認定している。「ピーチマーク」認定施設を中心に、ツアー行程を組み、今後の事業展開に活かす。

<真庭市>

真庭市は雄大な自然が広がる蒜山高原を有しており、

訪問したヒルゼン高原センターではピーチマーク認定のジンギスカンや蒜山ジャージー牛乳を使用したアイスクリーム作りなどを楽しみました。また、高原でのサイクリング体験は「バイクや車を中心のインドネシアではできない体験だった」と招へい者から大変好評でした。



「ピーチマーク」のジンギスカンを楽しむ様子

<吉備中央町>

吉備中央町では、特産のブルーベリーを使ったジャム作りなどを行った後、農家民泊を体験しました。「農家民宿 池ノ上」のご家族とともに夕食作りを行い、お宅の庭で採れた野菜を使ったかき揚げや、季節の食材を使った炊き込みご飯など、日本の家庭の味を堪能しました。招へい者からは、「おもてなしがすばらしかった」、「アットホームな空間だった」という意見が寄せられ、インドネシアの知人にも広めたいという声をいただきました。



「農家民宿 池ノ上」での夕食作りの様子

<岡山市>

岡山市で宿泊した「ホテル グランヴィア岡山」は、要件がより厳格なピーチマーク2に認定されています。朝食メニューへの配慮はもちろん、ムスリムがお祈りする際の方向を示した「キブラマーク」やお祈り専用の部屋も設けられています。参加者は、「ムスリムの家族と訪問する際にも安心」と述べ、次回の訪問時にもぜひ利用したいとのことでした。